

「議員力とは～問われる政策力～」
1月16日に議員研修会を開催しました！



(講師)
福知山公立大学
副学長 富野暉一郎氏



12月定例会 人事案件、補正予算などを審議

12月定例会を12月1日から12月21日まで21日間の会期で開催し、人事案件、補正予算など議案30件及び陳情4件を審議しました。

●12月4日、5日、6日に16人の議員が市政について一般質問を行いました。

中学生の学習支援を



市民クラブ
本郷 照代

問 以前の一般質問では、中学生の学習支援を前向きに検討するとの答弁だったが、どう検討したか。

答 生活困窮者自立支援法で定める子ども学習支援事業を、平成30年度中に実施できるよう準備を進めている。毎週1回3時間程度で、教員OBによる学習指導を考えている。事業実施はシルバー人材センターへの委託を予定している。

問 愛知教育大学と西尾市は相互連携協定を結んだが、中学生の学習支援に協力してもらうことを考えないか。

答 中学生の個別の学習支援については、本協定の趣旨と異なるが、学生の募集に関しては、関係課からの依頼があれば協力していく。

市役所も働き方改革を

問 労働時間の適正管理について見直すとの事だったが、進捗状況と効果はどのようか。

答 本年4月から庶務管理システムを導入したことで、勤務時間と出勤時間との乖離が把握できるようになり、時間外勤務時間の積算や集計誤りなどの

の事務ミスが改善された。

問 男性が育児や介護などの家庭的責任を果たすことができるような働き方改革について、どう取り組んでいるか。

答 休暇等の制度を周知するため、本年4月『育児のための両立支援ハンドブック』を作成した。また、人事担当に相談があった場合には、制度の内容を詳しく説明して不安を取り除いたり、休暇取得を希望する職員の所属する管理職に対し、休暇取得に向けた職場環境の整備を促すなど、働き方改革に向けて積極的に取り組んでいる。

障害者歯科診療所設置は

問 障害者歯科診療所については、設立協議会を立ち上げ検討中であると思いが、検討の進捗状況はどのようか。

答 これまで、3回の協議会、9回の作業部会を開催し、障害者のご家族や歯科医師の意見を踏まえた診療所を検討した。現在は、実施設計を委託中で、12月中旬に完成の予定である。

問 西尾市への特別支援学校誘致も決まり、障害者歯科診療所に対する需要は高まるものと推察できる。市としての認識はどのようか。

答 これまで他市の障害者歯科診療所で治療していた方たちは、移動による本人や家族の負担が減ると認識している。また、遠方で行けなかった方も近くでの治療が可能になると考えている。



市民クラブ
稲垣 一夫

文化施設の更なる活用について

問 枝条架併設の流下式塩田をつくる考えはないか。塩の製造販売を行うため、指定管理者制度を取り入れ弾力的な運営を行うべきでないか。

答 産業部の協力により、塩田体験館にて観光・産業振興策を講じていくことは必要である。また、指定管理者制度の導入により物販等の商業要素への拡大を図ることは、有効な運営方法と考えており、今後検討する。

問 「文化観光課」を立ち上げ、「観光のまち西尾市」を目指さないか。

答 市内に数多くある歴史的な史跡や観光名所を総合的に観光資源として活用できるよう、関係部局と連携体制を強化し、豊富な観光資源を活かした観光プランづくりに努め、何度も訪れてみたくなる「観光のまち西尾市」を目指す。

防災の啓発周知等について

問 「避難準備・高齢者等避難開始」発令時は、自主防災会長、町内会長等はそのように行動すべきか。

答 「避難準備・高齢者等避難開始」は、西尾市避難勧告等の判断・伝達マニユ

アルに基づき発令され、避難に時間のかかる要配慮者とその支援者に対し、立ち退き避難を求める情報として市民の皆さんに周知するものである。

自主防災会長は、自主防災会の役員や町内会長、民生委員等と協力し、避難行動要支援者名簿の登録者に連絡するなど、要配慮者への情報提供に努めていただきたい。

問 災害時の避難行動要支援者への支援について、自主防災会長はどのような対応すべきか。

答 自主防災会長は、要配慮者への情報提供に努めていただきたい。

避難対象者が取るべき行動については、災害種別や発令情報により異なるので、西尾市避難勧告等の判断・伝達マニユアルを確認していただきたい。

問 標高表示板を信号機付近などの見やすい場所にある電柱に設置できないか。

答 手続きを行えば可能。町内会から要望があれば標高表示板をお渡しする。

西尾市吉良保健センターについて

問 吉良保健センターの利用について、保健・福祉の目的以外の生涯学習活動等を行う団体や個人などにも幅広く利用できるようにしないか。

答 施設の建設費補助金の一部返還、所管替え、条例・規則改正など多くの問題が考えられるが、必要性を含め関係部課と協議しながら研究していく。



無所属
鈴木 規子

西尾市方式PFIの検証について

問 PFI事業では下請企業が不当な安値で受注させられているという。市として調査すべきではないか。

答 アンケートなど調査方法も含めて検討してみたい。

問 昨年6月の契約締結以降、SPC(株)エリアプランと覚書など契約書に準じた文書を交わしているか。

答 サービス対価の減額及び改善要求等の実施に係る覚書（SPCが業務を満たしていないと市が判断した場合の具体的な罰則を整理したもの）、特定事業契約書に付随する覚書（契約の内容を明確化し解釈を補うもの）など3件を締結した。

問 それらは、他市のPFIでは全て本契約に含まれている内容であるのに議会には全く報告もされていない。議会軽視も甚だしい。本来、議決を受けべき内容だったのではないか。

答 議決をとるべきだったと考える。

問 SPCの積算根拠を入手してVFM(費用節減と効果の比較・サービスの向上)を検証すべきだったのではない

いか。特に吉良支所については建設中であり、すぐにも行えるのではないかと。業者提案を代替案として採用しているため、市の積算とは同じ土俵では比較できないのが実情。吉良支所は資料を見て、できる検証をしていきたい。

問 説明会では、フィットネス・風呂はいらぬとの意見が多数あったが、市長は、これをどう思ったのか。

答 税金を使う以上、住民が求めていないサービスまでつける必要はないとの意見。何とか見直しをしていきたい。

問 代替案の施設はみな建設費用が市の積算を大きく上回っている。是非を検証すべきだったのではないか。

答 今後、検証されていくと考える。

問 160施設の管理では、サンエイと辻村工業から下請企業への発注状況維持管理マニュアルはどのようか。

答 82社の中、昨年度から変更がないのは76社で新規は6社。マニュアルはまだ出ていない。

問 SPCは工事中止の追加費用について、自らの記者会見では詳しい内容金額を発表しておきながら、市への請求は総額のみという不誠実な態度である。詳細を求めるべきではないのか。

答 詳しい請求内訳を求め精査する。しっかり方針を定め弁護団と意思疎通を図りながら今後の交渉に臨んでいく。



市民クラブ
犬飼 勝博

防災・減災への取り組みについて

問 屋内では防災無線の放送が聞こえにくい。SNSの利用者の多いLINE等、無料通信アプリを活用するサービスの導入は効果的と考えるが、どのようなか。

答 現在実施している防災行政無線更新事業において、防災行政無線の放送内容を確認するための防災アプリや、メール配信サービスを導入していく予定である。防災アプリについては、平成30年度に内容を検討し、平成31年度の運用開始を予定している。

問 大規模災害発生後、外部からの応援を円滑に受け入れるための「市受援マニュアル」の策定をするべきと考えるが、本市の考え方はどのようなか。

答 南海トラフ地震において甚大な被害が想定されていることから、いかに早く外部に対して支援要請ができるかが重要。できる限り早い時期の策定を目指し、時期については平成31年度末ごろになると考えている。

安全で安心して暮らすための取り組み

問 高齢者を見守るシステムとして、GPS端末や、見守りタグアプリ等の

導入が必要と考えるが、本市の考え方はどのようなか。

答 見守りタグアプリやGPS端末などの機器は、日進月歩で性能が良くなっている。他の自治体の導入状況などを注視し、地域への受け入れやすさや費用対効果を重視しながら調査研究をしていく。

行財政改革について

問 公正競争・公正労働の観点からも「公契約条例」の制定が必要と考えるが、本市の考え方はどのようなか。

答 作業報酬下限額の導入など、条例の制定には企業収益に大きく影響することから、各業界への周知同意が必要であると考えている。

平成31年度末をめどに西尾市に合った適切な公契約条例の制定に向けて研究していく。

問 衆議院選挙では台風等の影響により



期日前投票所に長蛇の列ができ、有権者から不満の声が出ている。期日前投票所を増設する等、前向きに検討すべきと考えるが、どのようなか。

答 期日前投票をされる有権者の方がふえているので、設置場所、設置数、設置期間等を考慮し、最小の経費で最大の効果が得られる場所への設置が必要。まずは、平成31年2月の知事選挙を目安に、期日前投票所を1か所増設することを検討していく。



市民クラブ
松井晋一郎

地域公共交通の利便性向上のために

問 ふれんどバス、名鉄東部交通バスとの連携はどのようなか。また、今後の改善点についての考えは。

答 いっちゃんバスの運行開始に合わせ、停留場を一色町公民館に集約。また、西尾駅及び西尾市民病院方面の接続を考慮してダイヤの調整を行い、乗り継ぎの利便性向上を図っている。

今後、一色学びの館等の工事完了を待ち、ベンチの設置や乗り継ぎ情報を掲載した案内看板の設置など環境改善を検討していく。

問 地域住民に親しまれる有用な公共交通手段として継続して運用されるよう、地区公共交通協議会での検討、協議を定期的に開催していく必要があると思うがどうか。

答 今後も定期的に開催し、利用促進策の検討と共に利用状況等の分析、ルートなどの改善を行っていく。

防災・減災対策について

問 人工高台「命山・津波避難タワー」建設への期待が大きい。建設への考えと、実現に向けた取り組みはどのようなか。

また、県防災ヘリポート建設のための場所選定の進捗はどのようなか。

答 命山・津波避難タワー建設について、国に社会資本整備総合交付金の補助金要望書を提出している。事業認定があり、財源の確保ができ次第、順次進めていく。防災ヘリポート建設については、対米住宅跡地に加え候補地の検討を進めている。

問 町内会関係者、有識者を含めた「(仮称)命山・津波避難タワー建設検討協議会」を設立しないか。

答 町内会長、自主防災会長、PTA、有識者などを中心とした組織を検討していく。

問 協議会の運営方針、時期はどのようなか。

答 校区ごとの設置を目標とし、地区の皆様が主体的に考え、自由に協議、検討できる会議にしたい。設立については、今年度中にメンバー選定を行い、30年度の早い時期に設立を目指す。

アサリ漁業復興事業は

問 次年度のアサリ漁業復興事業についての考えは。

答 今年度同様、漁場へのアサリ種苗放流、藻場・干潟の環境整備の実施、有害生物の捕獲駆除も継続していく。また、地先漁場生産力向上事業(県費補助)を活用して、アサリ増殖場の造成を行い、資源回復に努めていく。



日本共産党西尾市議員
前田 修

一色・吉良・寺津、PFI見直しを

問 旧一色支所の劣化度調査の結果と市営住宅建設について、市民の意見はどのようなか。

答 地元町内会や意見交換会でも「支所は残して活用してほしい」などの意見がたくさんあった。市営住宅を建設しないということになれば、支所をすぐに取り壊す必要はないと思われる。旧一色支所について、利用目的と改修費用を算定して判断していきたい。

問 吉良支所棟に、税金でフィットネスクラブをつくることに反対の声は大きい。やめる方向で考えているか。

答 当然、市民の声を聞いていくが、现阶段、検討中とは言えない。

問 市民温水プールを寺津の学校施設内に建設することに反対する声が多く、計画を見直すべきだが。

答 寺津学区の町内会長から「反対」の要望書を受けている。検討したい。

問 寺津市民温水プールは、近隣の学校プールを廃止することで建設経費を賄うことにしているが、保護者の反対の声も大きい。計画を見直さないか。

答 民間プールを利用することは有用であり、説明していきたい。

問 市長は「PFIは、市民の声を聞いてこなかったため、市民の要望していない施設ができてしまった。そういう施設はやめ、経費を圧縮し将来に負担を残さない」と主張してきたが、その立場で取り組む考えに変わりないか。その姿勢を進めていく。

問 今後、市が要求しても、SPCが応じないことも考えられる。民意を大事にするとの姿勢を貫けるか。

答 民意を踏まえ、案をつくり交渉する。弁護士とよく協議し進めたい。

低い所得の世帯への子育て支援を

問 児童クラブ保育料について、低所得者には軽減できるように考えないか。

答 平成30年4月から、生活保護世帯には無料としていきたい。生活保護世帯に準ずる低所得者への拡大についても検討していきたい。

問 市長は、保育料・授業料を軽減すると公約してきたが、その内容は。

答 30年度から幼稚園の保育料見直し（引き下げ）をしていく予定である。

公契約条例の制定を

問 公契約条例を制定しないか。

答 平成31年度末をめどに制定できるように研究していきたい。



至誠クラブ
磯部 雅弘

教師の多忙化解消を

問 多忙化解消に向けた今後の目標・方針はどのようなか。

答 目標は、県のプランと同様、平成32年度には勤務時間以外の在校時間が月80時間を超過している教員の割合ゼロ%を目指していく。部活動運営指針の徹底、会議・行事などの精選と内容の見直しなどを指導していく。

第48回衆院選の対応について

問 佐久島地区の対応について選挙の考え方はどのようなか。

答 選挙としては県選管と協議し、選挙人の投票の機会をできる限り確保するとともに、投票箱の輸送手段を複数確保することにした。

問 期日前投票所を増設しないか。

答 平成31年2月の知事選挙を目安に期日前投票所の1か所増設を検討する。

つつしままちづくりについて

問 いっしき市民交流広場（仮称）の改修工事のスケジュールは。

答 一色町公民館、一色学びの館については、いずれも平成30年1月末までに、また、一色健康センターについて

は、年内に工事が終わる予定。

問 いっしき市民交流広場（仮称）の内容については、市民に説明をするのか。

答 できるだけ早い段階で説明会の開催を計画していく。

問 いっしき市民交流広場（仮称）において、改修後に、施設とバスの利用者が重なり、駐輪場が不足する可能性があるが対策はどうか。

答 一色学びの館などの施設利用再開後の利用状況を把握しながら、関係部署と連携し対策を検討する。

問 一色B&Gプールの利用状況は。

答 利用者数は、ほぼ横ばいである。

問 一色B&Gプールの今後の予定は。

答 寺津温水プールの見直しの状況によるが、大規模修繕を要する事態にならない限り使用していく。

問 一色B&Gプールは、部活動でも利用され、多くの市民からも必要とされている。いっちゃんバスも走り始めて、各方面から乗り継いで来られる。将来的な学校プールのあり方、公的不動産の有効活用などを総合的に考え、一色B&Gプールの建てかえを検討しないか。

答 貴重なご意見として検討させていただきます。



公明党西尾市議員
大塚久美子

気持ちよく投票できる取り組み

問 投票所となる施設のバリアフリー化は十分配慮されているか。

答 主にふれあいセンターや小学校の体育館などを使用し、投票所の設置時にカーペットの敷設や簡易スロープの設置など、バリアフリー化の対策をしている。

問 公共交通空白地に設置することを大前提に、また時間や場所など、市民の意見とニーズをしっかりと捉えて期日前投票所を設置しないか。

答 平成31年2月の知事選挙を目安に、投票所の統廃合と共に市内全域のバランスを考慮し、設置場所、設置数、設置時間等を考慮して、最小の経費で最大の効果が得られる場所への期日前投票所の増設を検討する。

治療で免疫を失った子どもの予防再接種の助成を

問 抗がん剤治療をすると今までに獲得した予防接種の抗体がなくなってしまうが、任意の再接種に対する要望を把握しているか。

答 把握しているが、現状では定期接種として再度接種することはできない。

問 予防接種で得た免疫を、骨髄移植やさい帯血移植、抗がん剤治療などにより失い、再接種が必要になった場合、全額自己負担（20万円以上）となるため費用の助成をしないか。

答 定期の予防接種を受けた後に抗がん剤治療などの理由により、接種済みの定期予防接種の効果も期待できないと医師に判断された場合、任意で再接種をする費用の助成について、平成30年度の実施に向けて検討する。

災害時の避難所運営と整備

問 内閣府の避難所の良好な生活環境の確保に向けた取り組み方針では、運営マニュアルに基づき、平時から避難所の運営責任予定者を対象とした研修や地域住民も参加する訓練を実施することとなっているが本市はどのようなか。

答 避難所運営の中心的な役割を担う校区自主防災会連絡協議会会長及び自主防災会会長を対象にした自主防災会長向け防災・減災セミナーの中で、訓練をしている。

問 災害時の女性や子どもたちを守るために、また女性の力を活用するために「女性のための防災ブック」を作成しないか。

答 女性の防災意識の向上が、各家庭での防災対策の推進につながる。そうした女性の考えや知恵などを借りることは大変大事であるため、前向きに考えていく。



市民クラブ
永山 英人

津波による浸水地域への「命山」の造成は

問 9月議会で、命山の建設は高額になるため、津波避難タワーの建設も視野に検討との回答だったが、両者の事業費をどれくらいと見込んでいるか。

答 袋井市と同規模の収容人員とした場合、用地費も含め命山の方が高額になると見込んでいる。命山は普段は公園や広場として活用できるが、タワーは、日頃の活用は難しい。

問 「命山」の造成には、莫大な量の土砂が見込まれるが、その確保に固有地である幡豆地区の山林150ヘクタールの土砂の活用を考えないか。

答 県の意向を確認して可能であれば検討していく。

問 津波浸水地域の市民や町内会、事業所などから「命山」をつくってほしいという要望はあるか。

答 市民からの多くの建設要望をいただいている。

問 「命山」の造成事業に対する国の補助の概要は。

答 造成に活用できる社会資本整備総合交付金の概要は、実施設計費及び工事費を補助対象とし、交付率は2分の1である。

地震や大雨に対する排水対策は

問 近年の予想をはるかに超える大型台風の影響や記録的な大雨に対する沿岸部、河川沿いの低地の排水対策は。

答 主に市街化区域の排水施設の整備を行っている。雨水計画の見直しのため雨水排水現況調査を進め、本年度完了する予定。過去の浸水や緊急性などを加味して雨水整備計画を策定し高額になる事業は国の補助を受ける準備を進めている。早期対策が必要な地区は市単独事業でできる範囲で進めていく。

問 山間部にある、ため池の耐震化や大雨時と平常時の維持管理の状況は。

答 市内74か所のため池のうち、下流に人家や病院、学校などの重要な公共施設のある防災重点ため池の29か所を最優先に愛知県が耐震調査を行った。結果、17か所が耐震不足と判定されたので、順次、県営事業で耐震対策の改善をしていく。

問 台風や大雨などの自然災害で市民の生命や財産に被害が発生した場合の支援策は。

答 災害見舞金の支給や罹災証明の発行、毛布や日用品の支給、し尿くみ取り手数料の減免など様々なものがある。町内会長に対し、具体的な支援内容をまとめた資料を毎年配付している。



市民クラブ
青山 繁

広報にしおの発行回数の見直し

問 市の歳出削減や町内会長の負担軽減のため、広報にしおの発行回数を月2回から1回に見直さないか。

答 月1回の発行では、時期に即したお知らせの掲載が難しくなり、1回当たりのページ数がふえ、情報が埋もれてしまう可能性もあるため、月2回の発行が必要と考えている。市政に関する情報発信をホームページやSNSの活用など、総合的に考えていく中で広報の発行回数も研究していく。

問 今後、広報にしおの発行回数をどのように考えるか。

答 これまで月2回の発行を堅持してきたが、町内会長の負担軽減のため、例えば民間事業者等への委託を考えた場合、配布にかかる委託料が増加するため、状況を見て月1回の発行を検討する必要がある。発行回数を変更する際は、アンケートなどで市民の意向を確認していきたい。

市有地の積極的な活用を

問 戸ヶ崎の新荒子住宅跡地は、どのように活用する考えか。

答 西尾市市営住宅長寿命化計画の修正や見直しの中で、市営住宅または他の公共施設としての活用や、売却など幅広く検討していく。

問 今までに廃止された市営住宅跡地は、どのように活用されているか。

答 主には、都市公園、ちびっこ広場常設の資源ごみステーションとしての活用や、売却等を進めている。

問 西尾市内の市街化区域にある市有地の活用はどのようなか。

答 市有地の中で、行政目的を持たない「普通財産」で単独利用可能な土地は、一般競争入札による売却を推進し、財源の確保に努めていきたい。

「まじゅうポスト10周年記念イベント」について

問 記念イベントの概要はどのようなか。

答 西尾の抹茶色をイメージした丸型郵便ポストが井桁屋公園に設置されて以来10年目を迎える。当時の関係者の方々により、「丸型ポストフェスティバル2018 in ふみの街西尾」という実行委員会が立ち上げられ、平成30年3月17日・18日の両日、全国各地から丸型郵便ポストの関係者や愛好家が集い、セシモニーなどが開催される。



至誠クラブ
黒辺 一彦

職員提案制度の充実に向けて

問 職員提案の実績はどのようなか。

答 過去3年間の実績で、平成26年度は6件、27年度は3件、28年度は69件の提案があった。28年度が突出しているのは、西尾市行財政改革推進計画(第5次実行計画)の策定に当たり特別に行革に関する提案を募集したため。

問 制度の充実に向け、今後どのようにしていくか。

答 来年度はコンテスト形式の実施を予定している。市長・副市長をはじめ多くの職員の前でパワーポイントを使ったプレゼンテーションを行い、優秀な提案には褒賞を出していく。また、コンテストを8月に開催して、翌年度の事業展開の参考にしていきたいと考えている。

成人歯科検診の推進と医療費の削減に向けて

問 医療費と口腔内の健康との関係性について、どのように把握しているか。

答 定期的な歯科検診の受診者はそうでない者に比べて、将来使う医療費が低くなるといった研究結果があることは把握している。公衆衛生学的に口腔

内の健康が全身の健康状態に影響を及ぼすことも認識している。

問 歯科検診受診者増加のために、今後どのような工夫をしていくか。

答 歯科医師会とも調整を図りながら、かかりつけ歯科医を持ち、受診行動に結びつく啓発など口腔内環境の向上に努めていきたい。

新学校給食センター建設に伴う今後の方針について

問 建設に至った経緯はどのようなか。

答 昭和43年建築の一色学校給食センターが老朽化したため建かえが急務の状態であった。そこで公共施設再配置計画の趣旨を踏まえて、一色・吉良・幡豆の各学校給食センターの統廃合を行い、新たな給食センターを建設するもの。建設予定地は、用地の早期取得、防災面、用地整備の効率性、道路事情など総合的に判断して、須脇町地内を選定した。

問 給食の提供方法について、自校方式とセンター方式があるが、今後、市の方針として一元化を考えていくのか。

答 教育委員会の方針として、当面は2つの給食運営方式を併用して実施していくことになっている。平成32年度を目標に学校施設の個別施設整備計画を策定し、その際には費用対効果も踏まえて方式を検討していく。



公明党西尾市議員
大河内博之

**公共施設のアスベスト対策と
改修工事**

問 旧一色支所、旧吉良支所、吉良町公民館について、アスベストが新たに検出されたが、なぜ、今回、追加検出されたのか。また、業務要求水準書でどのようになっていたか。

答 平成29年5月の国の技術的助言により、新たな対象物質が追加されたため。業務要求水準書には記載がなかった。

問 この3施設のアスベストを除去する場合の追加費用はどれほどか。

答 旧一色支所については、2千万円から3千万円程度と想定している。旧吉良支所及び吉良町公民館については、現時点では、8千万円程度になると想定している。

問 そうしたアスベスト除去のための追加費用は市が全て負担すべきか。

答 今回は業務要求水準書には記載がなく、後から基準などの改正により変更したもので、市が負担すべきものと考えている。

問 包括発注ではなく、施設ごとに発注していく考えと、早い時期にアスベストの状況や改修施設の状況を把握するという考えについてはどのようか。

答 包括発注によるデメリットの一つではないかと考える。市が直接、市の予算でアスベスト調査を実施することは可能。

障害福祉サービスの拡充は

問 本市在住の特別支援学校の卒業生の就労状況や福祉サービスの利用状況はどのようか。

答 安城特別支援学校、岡崎特別支援学校の西尾市在住の平成28年度の卒業生20人のうち、3人が一般就労となっている。

また、障害福祉サービスは、2人が就労移行支援を利用し、7人が就労継続支援B型を利用している。一般就労が困難な方を対象とした就労の機会の提供や知識、能力の向上のための訓練を行っている。

問 福祉サービス事業所への、市の役割や物品の優先調達などの拡充については、どのように考えているか。

答 「西尾市障害者就労施設等からの物品等の調達方針」に基づき、全庁的に推進してきた。当初予算作成時に障害者就労施設等の受注機会の確保に留意した予算見積りとする旨の記載をするとともに、取り扱い物品や役務などについての情報提供を行うなど、引き続き、各課へ働きかけていく。



日本共産党西尾市議員
牧野 次郎

福祉・教育優先の新年度予算編成を

問 新年度予算編成での重点と市長公約での具体化は何か。

答 公約の子育て支援と教育環境整備に努め、確定的なことは言えないが、出産支援金の見直し、公立幼稚園保育料引き上げの見直し、生活困窮世帯の子どもの学習支援、学校司書の配置、高等学校奨学金の新設などを考えている。

問 市長公約の予算編成過程公開の実施は。

答 平成31年度当初予算編成からの実施を予定している。公開の対象・内容・時期など調査・研究していく。

問 西尾市方式のPFI事業の契約書類等を全部公開しないか。

答 できる限り情報公開していきたい。
西三河で一番高い国民健康保険税の引き下げを

問 30年から国保の財政運営が地域化され、国保税の試算では引き上げになる見込みが示されているがどのようか。

答 県の標準保険料率では、試算すると西尾市は（世帯当たり約1万5千円）高くなる傾向にある。そのまま税率を

適用するのではなく、市としての税率を検討していく。

問 県に対して、値上げにならないように働きかけているか。

答 特別交付金などの補てんを要望しているが、結論は出ていない。

問 今以上の高額な国保税にならないように、市での方策を講じないか。

答 税率の検討に当たっては急激な税負担にならないよう配慮し、負担がふえないように繰り入れる財源を、財政局と慎重に検討する。

防犯灯LED化で安全安心な街を

問 防犯灯の設置状況とLED化率は。
答 防犯灯は1万675基設置しており、そのうちLED照明は3千985基でLED化率は37・3%である。

問 LED化のメリットと全部LED化する費用はどのようか。

答 町内会の電気料負担は約半額に軽減され、蛍光管交換費の負担もなくなる。二酸化炭素の排出削減や手間の負担軽減にもつながる。

問 防犯灯の新設予算と別建てでLED化を進めないか。

答 LED化を一括で実施する包括リース方式など参考に、経費の比較、事務効率率などの視点から、予算の枠組みを検討する。



至誠クラブ
筒井 登

PF1事業のごとで神原前市長とSPC側（PF1事業に参画している市内企業集合体）の説明責任を問う

問 PF1事業に対する反省点は。

答 大規模事業でありながら、契約前にしっかりと説明してこなかったという厳しい意見をいただいていることである。

問 SPC側から西尾市が一方的に損害賠償請求をされているが、SPC側が完全であったとはいえない。西尾市もSPC側に対して損害賠償請求をしないか。

答 SPC側に賠償請求すべき理由が確認できれば対応していきたい。

問 神原前市長に対しても、不作為、つまり市長として何もしてこなかったことに対する損害賠償請求をすべきではないか。

答 弁護士と相談して対応していく。

問 神原前市長に、市民や議会の場で、これまでの経過を説明していただく機会を設けないか。

答 公開の場合は考えていないが、必要があれば、経緯等をお聞きすることもある。

寺津市民温水プール建設計画は、教育委員会もSPC側も稚拙すぎでは

問 寺津に市民の税金を使ってプールをつくることによって、隣接する矢田小学校区にある民間資本による温水プールの経営を圧迫すると教育長は考えなかったか。

答 矢田小学校区にある民間プールの経営を圧迫するとは考えていない。



税金でつくろうとしている寺津市民温水プール建設予定地の近くにある民間の温水プール！営業妨害にはならないのか？

問 教育委員会が寺津小学校の敷地内につくると提案したのか、SPCの提案を鵜呑みにしたのか。

答 SPCの企画提案である。

問 教育委員会は、地元の寺津校区に全く説明もしないで、SPCの提案を何の抵抗もなく受け入れたということなのか。

答 そのとおりである。



市民クラブ
松崎 隆治

水害対策の市の姿勢は

問 雨水排水計画の進捗状況は。

答 流下能力の確認を行うなど現況調査をし、ポンプ場の見直しを含め、29年度中に策定をする。

問 開発による下流への影響は。

答 下流河川の流下能力により、調整池の必要性を判断。必要な場合、事業着手前の排水量まで抑制できる容量を備えた調整池を設置し、対応している。

問 ポンプ場の整備はどのように進めていくか。

答 被害実績や緊急性を考慮し、国の補助金を利用し進める。

問 どのような考えで対策していくか。

答 市民が安心安全に住めるよう、予算措置していく。

公共施設再配置、見直し方針の疑問点を明確に

問 事業を中断した結果、増加費用が発生してしまったが、費用はどこから捻出するのか。

答 払わなければならないものに関しては、財政調整基金などを利用して払

っていく。

問 旧一色支所の劣化度調査では1階と3階の耐久年数が10年と判断されたが、建物自体の耐久年数も同じと考えるといいのか。

答 長寿命化もできないため、安全性を考慮しても、10年と考えている。

問 PF1事業を従前の計画で進めた場合、財政規模が年間500億円の市で、支出を平準化すると、年間7億円の支出のうち、半分以上が既存の維持管理費、残り約3億円が新たな支出になる。市は財政破綻まで考えなければならぬのか。

答 長期財政計画や健全化判断比率等からみても、このことで市が破綻することはない。

問 新計画を策定する場合、ハコモノ行政再来になることはないか。

答 このプロジェクトの範囲内では、そうならないと考えている。

問 公共施設の数を中学校区別に言えば、西尾中学校区は46、平坂中学校区は19、一色中学校区は39、吉良中学校区は66施設などとなるが、今後どのようにして再配置を判断していくか。

答 地域の施設数を考慮して再配置をしていく。





至誠クラブ
神谷 雅章

観光資源を活用したまちづくりについて

問 名所旧跡に恵まれた吉良地区を「歴史と文化の地区」とし、他の地域と連携した観光づくりを考えないか。
答 関係部局と連携体制を強化し、吉良地区と他地区を繋げた観光プランづくりに努めていく。

問 平成33年吉良家生誕800年祭に向けた事業の検討は、どのようなか。
答 合併10周年を記念する年でもあり、全国的にPRできるよう検討する。

問 佐久島は、市にとって貴重な観光資源であり、観光客の利便性や名鉄の利用促進も視野に入れ、吉良吉田駅から5分程度で行ける吉田港に渡船場を設置しないか。
答 オール西尾としてのメリットについて関係機関と連携して検討する。

企業誘致による「まちづくり」について

問 雇用確保・税収拡大などのため、企業誘致のため用地確保を考えないか。
答 企業の用地ニーズに速やかに対応するため、土地開発公社や企業庁による

る企業用地の開発などを進めていく。

問 都市計画マスタープランの見直しで、将来を見据えた新たな工業用地の位置づけを検討すべきではないか。
答 企業の進出が見込まれる箇所について、優先的に位置づける。

問 衣浦蒲郡線・衣浦岡崎線沿いでの新たな工業用地の位置づけをどのように検討しているのか。
答 企業ニーズの把握に努め、関係部局と連携して新たな位置づけを検討する。

事業の凍結、全面見直しをする「公共施設再配置」の今後の進め方について

問 契約時に添付されていなかった事業費198億円の積算関係書類の公表は考えているのか。
答 今後、公表していく。

問 一色学びの館の開架数・閉架数は、開架書庫6万300冊、閉架書庫5万4千200冊で開架の書庫がふえる予定。資料館は、検討を進めている。
答 一色、吉良地区の「まちづくり」を地域ごとに見直しすべきではないか。地域別に見直すかは検討中である。

問 旧幡豆郡の小中学校の給食センターとして建設するのに、なぜ須脇町か。一番の最適地であると考えた。
答 旧幡豆郡の小中学校の給食センターとして建設するのに、なぜ須脇町か。一番の最適地であると考えた。

3月定例会市議会
開催予定のお知らせ

2月26日(月)	本 会 議
(議案上程・施政方針演説)	
27日(火)	本会議(代表質問)
28日(水)	本会議(一般質問)
3月1日(木)	本会議(一般質問)
5日(月)	本会議(予備日)
7日(水)	本会議(当初予算上程)
8日(木)	厚生委員会
9日(金)	文教委員会
12日(月)	経済建設委員会
13日(火)	企画総務委員会
22日(木)	本会議(採決)

開会時間は午前10時です。

* 本会議は議場

* 委員会は第1委員会室

ぜひ傍聴にお越しください。

なお、議会傍聴の際に手話通訳が必要な場合、事前に議会事務局へお申し込みいただければ対応できます。ご利用ください。



議会テレビ中継の
お知らせ(予定)

〔放送日〕	3月1日(木)
	(2月26日施政方針)
	(2月27日代表質問)
	3月5日(月)
	(2月28日一般質問)
	3月12日(月)
	(3月1日一般質問)
	3月26日(月)
	(3月5日予備日)

12月定例会の放送から、より多くのご家庭でご覧いただけるよう放送チャンネルが変更になりました。

〔放送チャンネル〕
地上デジタル 11CH

〔放送開始時間〕

施政方針は13時からです。
代表・一般質問は18時からです。
ぜひご覧ください。

インターネットで
議会を見てみよう

下記QRコードまたは西尾市議会ホームページからアクセスできます。ぜひご覧ください。





議会運営の効率化・迅速化を図るため、市議会にタブレットを導入します！

【導入目的】

議員の情報収集力の向上及び議員間や議会事務局との情報共有の効率化を目的としています。

また、議会関係資料等を集中管理し、電子ファイルの共有化を図ることによりペーパーレスを推進します。

さらに、災害情報の共有化・情報伝達の迅速化を図り、危機管理対応に有効なツールとしての活用を目指します。

【導入時期】

3月定例会から導入する予定です。

平成29年12月定例会傍聴者アンケートについて

アンケート回答者数

合計67人（参考）傍聴者延べ90人

内訳	
12月1日(金)	議案上程委員会付託 3人(4人)
12月4日(月)	一般 質 問 28人(40人)
12月5日(火)	一般 質 問 23人(27人)
12月6日(水)	一般 質 問 12人(17人)
12月21日(木)	委員長報告、採決 1人(2人)

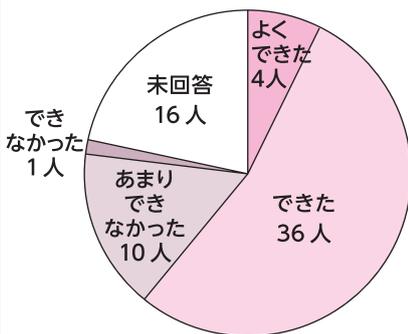
(参考) 平成28年12月定例会回答者数32人(延べ46人)

※()の数字は傍聴者数
※各委員会については傍聴者なし

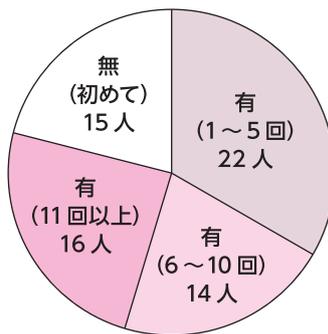
性 別	年 齢	職 業
男性…28人	20代…2人	会社員…5人
女性…27人	40代…3人	自営業…7人
未回答…12人	50代…8人	主婦…22人
	60歳以上…54人	学生…1人
		その他…22人
		未回答…10人



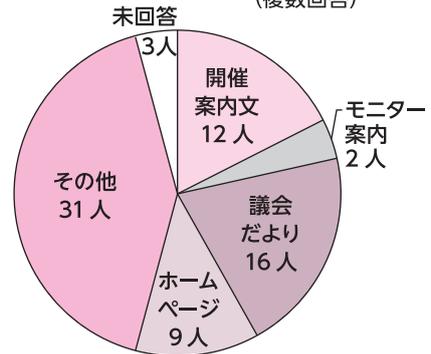
〔市の答弁内容に対する理解度は?〕



〔傍聴したことはありますか?〕



〔本日の傍聴のきっかけは?〕
(複数回答)



厚生委員会(10月24日〜26日)

◎大塚久美子 ○稲垣正明
牧野次郎 長谷川敏廣 中村眞一
稲垣一夫 青山 繁 黒辺一彦
(◎委員長 ○副委員長)

【視察地・テーマ】

香川県坂出市 認知症初期集中支援
事業について

山口県周南市 ①しゅうなんスマート
ライフチャレンジに
ついて

②もやいネットセンタ
ー推進事業について
福岡県北九州市 オレンジプランの概
要について

【内容】

坂出市では、「認知症初期集中支援事
業」についてお話を伺いました。複数
の専門職が家族の訴え等により認知症
が疑われる方や認知症の方およびその
家族を訪問し、様々な支援を症状の初
期の段階から包括的、集中的にチーム
でサポートし、自立生活を支援する制
度です。家族や地域の適切なサポート
で認知症になっても自分らしい生活が
守られ、そのために誰もが「認知症に
ついて正しく知る」ことが大切とのこ
とでした。

周南市では、「しゅうなんスマートラ
イフチャレンジ」と「もやいネットセ
ンター推進事業」についてお話を伺い

ました。生活習慣に着目して健康づく
りへの意識向上の働きかけとして、禁
煙、目標歩数を達成するなど9つの市
民チャレンジの取り組みが「しゅうな
んスマートライフチャレンジ」です。

一人ひとりが主
体的に健康づく
りに取り組むと
ともに、家庭、
地域、学校、職
場など社会全体
が進めていく意
識と体制づくり
を学ばせていた
だきました。



また「もやい
ネットセンター」は、高齢者をはじめ
子ども・障害者・生活困窮者などの支
援も総合的に行えるよう「福祉総合相
談窓口」を開設されました。窓口の一
本化、夜間・休日の緊急対応、地域で
見守る活動、もやい徘徊SOSネット
ワーク、支援事業者との協定などの取
り組みについて、西尾市にも活かせる
ヒントをいただきました。

北九州市は、政令指定都市の中では
最も高齢化が進んでおり、トップラン
ナーとして、認知症の方を地域全体で
支えるモデルを構築している認知症施
策「オレンジプランの概要」について
お話を伺いました。今後、西尾市が取
り組んでいくのに大いに参考になりま
した。

文教委員会(10月25日〜27日)

◎永山英人 ○松崎隆治
新家喜志男 神谷庄二 前田 修
磯部雅弘 犬飼勝博

【視察地・テーマ】

宮城県仙台市 スポーツコミッショ
ンせんだいについて
宮城県多賀城市 子育て支援すくっぴ
ーひろば事業につい
て

宮城県白石市 白石城の再建につい
て

【内容】

仙台市では、「スポーツコミッション
せんだい」の取り組みについてお話を
伺いました。スポーツを通じて更なる
にぎわいの創出や活性化につながる活
動であること、スポーツに関する意識
調査や現状分析を行い、活動に活かす
こと等、有意義な視察でありました。

また、スポーツ施設の整備において、
今後の大規模ス
ポーツ大会の誘
致に向けて、将
来を見据えて計
画を策定して取
り組む必要性等
をご教示いただ
き、参考となり
ました。



多賀城市では、「子育て支援すくっぴ
ーひろば事業」を視察しました。
施設は、気軽に利用しやすく配置され
子ども広場や赤ちゃん広場等、親子で
遊ぶだけでも訪れたいと思う工夫があ
りました。

子育て支援センターについては、本
市でも、PFI事業による一色交流広
場で、市直営による子育て支援センタ
ーが動き始めました。多賀城市のよう
な施設の運営・支援事業を参考にした
いと考えます。

白石市では、白石城を視察しました。
白石城は、昭和62年12月に再建するな
ら「木造でつくるべし」との市民の声
を踏まえ、団体・個人からの寄付金を
募り約1億7千万円を集めて再建され
ました。

再建にあたり、白石城は当時残され
ていた屏風絵を基に、石垣の積みあげ
方や城の土壁等、忠実に再現されてお
り、再建へのこだわりは参考となりま
した。

本市において
も、西尾城の再
建があげられま
すが、再建にか
かる費用と効果
や維持管理・運
用面の課題等を
踏まえ、慎重に
検討する必要があります。
あると考えます。



経済建設委員会(11月7日～9日)

◎本郷照代 ○大河内博之

岡田隆司 小林敏秋

石川伸一 藤井基夫

【視察地・テーマ】

北海道北広島市 空き家対策について
北海道旭川市 まちなか交流館につ

いて

北海道札幌市

札幌コンベンション
センターについて

【内容】

北広島市では「空き家対策」についてお話を伺いました。

市内への定住促進と地域の活性化を図ることを目的とした事業で、不動産を売りたい買いたい、貸したい借りりたい人たちの懸け橋を市が果たしています。より不動産の流動化を図る為、市内の宅地建物取引業者と協定を締結し、事業を展開しています。

求める物件が少ない、所有者である高齢者と話が進まない等の課題がありますが、行政代執行など強制的解決策に至らない前段階としての誘導的解決策として、本市でも検討していきたいと考えます。



旭川市では「まちなか交流館」を視察しました。旭川駅から南北に走る平和通の約1kmが、全国初の恒久的歩行者専用道路となっており、中ほどにある交流館には、まちなかマネジメント協議会事務局、交流館ショップ、カフェ、総合観光情報センター等の施設があります。中心市街地の賑わいを創出するため、オープンカフェ・ビアガーデン・朝市・まちゼミなど様々なイベントを協議会が主体となって開催する中で、より利便性を向上させる仕組みづくりを学んできました。

札幌市では、「札幌コンベンションセンター」を視察しました。西尾市にも平成30年秋には、西尾駅前広場にコンベンションホールが誕生します。中ホールがほぼ同規模で、その稼働率向上の取り組みの話を伺いました。札幌MICE総合戦略を立て、積極的に誘致を行うとともに受入基盤の強化にも取り組んでいます。会議・ツアー・スポーツ関連の会議、大会・イベント等、西尾市でも参考とし、取り入れることのできる策は果敢に取り入れていくべきだと思います。



企画総務委員会(11月8日～10日)

◎渡辺信行 ○颯田栄作

山田慶勝 筒井 登 鈴木規子

鈴木正章 鈴木武広 松井晋一郎

【視察地・テーマ】

北海道伊達市 包括外部監査制度について

北海道登別市 移住促進事業について

北海道苫小牧市 消防防災訓練センターについて

【内容】

伊達市では、「包括外部監査」についてお話を伺いました。当市は飛び地合併で44.4km²、財政力指数0.4。公認会計士や弁護士など有識者の専門性や知見を生かし、行財政改革や施策を2か年にわたってチェック。



施策の取捨選択のための第三者機関の助言は、職員の意識改革に大いに有効だったといえます。具体的なデータを収集し、施策の検証なくしてスクラップ&ビルドは進みません。住民への説明責任を果たすための手法として、合併した本市にも有効と感じました。

登別市では、「移住促進事業」についてお話を伺いました。北海道庁の首都圏の退職者向け定住促進施策に呼応し、温泉を生かし「ちよっと暮らし」と名付けた短期滞在体験をきっかけにする移住を提案。民間企業や宅建協会、住民による地域おこし協力隊と連携、現役世代の住民もふえて活躍しています。

本市でも、移住に至らないまでも、交流人口の増加策としてお茶や花卉園芸の体験などが考えられます。

苫小牧市では、「消防防災訓練センター」を視察しました。冬季の消防・防災訓練が制限されるため、消防本部の移転に伴って屋内型の大型訓練施設を設置。市内には活火山もあることから、大災害時の緊急消防援助隊の基地ともなっていました。

本市も沿岸部に海拔ゼロメートル地帯を抱え、大災害に備えた地域づくりや拠点づくりが懸案です。



■12月定例会で審議され、可決した議案等

☆ 人権擁護委員に、美濃浦恵子氏、青木安男氏を推薦することに同意しました。

★専決処分の承認について
★西尾市子育て・多世代交流プラザの設置及び管理に関する条例の制定について
★西尾市奨学金条例の制定について
★西尾市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市地域子育て支援センターいっしきの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市農業集落家庭排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★市道路線の認定について
★西尾市一色老人福祉センターの指定管理者の指定について
★土地区画整理事業に伴う町の区域の設定について
★平成29年度西尾市一般会計補正予算（第6号）
★平成29年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
★平成29年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
★平成29年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
★平成29年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）
★平成29年度西尾市水道事業会計補正予算（第1号）
★西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★平成29年度西尾市一般会計補正予算（第7号）
★平成29年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
★平成29年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
★平成29年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
★平成29年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）

■12月定例会に提出された陳情書

★「地球で生き続ける為の地球社会建設希望決議を、今、して頂きたい陳情書	議長預かり
★定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	議長預かり
★国に対して「待機児童解消、保育士等の処遇改善のための財源確保を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書（厚生委員会）	不採択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書（文教委員会）	不採択
★社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択
★福祉保育職場の職員の大幅な増員と賃金の改善の実現にむけて国に対して意見書提出を求める陳情	議長預かり
★住民税の「給与所得等の特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」に個人番号の記載を中止することを求める陳情書	議長預かり

■賛否の分かれた議案

12月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

「○」…賛成（採択） 「×」…反対（不採択）

議案名	議決結果	会派・議員名・表決態度																														
		市民クラブ									至誠クラブ									共産党	公明党	無所属										
		岡田隆司	神谷庄二	小林敏秋	稲垣正明	長谷川敏廣	颯田栄作	鈴木正章	稲垣一夫	鈴木武広	石川伸一	永山英人	松井晋一郎	渡辺信行	本郷照代	松崎隆治	青山繁	犬飼勝博	山田慶勝	筒井登	新家喜志男	神谷雅章	磯部雅弘	藤井基夫	黒辺一彦	牧野次郎	前田修	大河内博之	大塚久美子	鈴木規子	中村眞一	
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書(厚生委員会)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
国に対して「待機児童解消、保育士等の処遇改善のための財源確保を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書(文教委員会)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	
西尾市子育て・多世代交流プラザの設置及び管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	
西尾市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○		
西尾市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○		
西尾市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○		
社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	
西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	
西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	
西尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
平成29年度西尾市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	
平成29年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

議長のため表決に加わらない

編集室

立春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
12月定例会の放送から、議会テレビの放送チャンネルが地上デジタル「11CH」に変更され、より多くのご家庭で議会テレビ中継をご覧いただけるようになりました。皆さんぜひ、お時間のある時に放送のご視聴や、市議会の傍聴にお越しいただければ幸いです。

さて、私たちが広報委員となり、早くも半年間が経過いたしました。広報委員のメンバーも変わり、心新たに、より新鮮な気持ちを持ち、議員活動に日々邁進しております。

私たち広報委員は、市議会の情報をできる限り分かりやすく、見やすい広報を心がけ、皆さんにより市政に関心を持っていただけるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員

- ◎長谷川敏廣 ○颯田 栄作
 - 黒辺 一彦 犬飼 勝博
 - 磯部 雅弘 青山 繁
 - 大河内博之 前田 修
 - 稲垣 正明 鈴木 規子
- (◎委員長、○副委員長)

西尾市議会 広報委員会

電話 65-12182
FAX 54-10311
※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

■議場見学をしませんか？町内会や老人会の行事、ご家族、ご友人同士でお誘い合わせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局へ電話(Tel.65-2182)でお問い合わせください。